

地域無人交通サービスパッケージ プロジェクトについて

Dec. 2016

The logo for DeNA, featuring a stylized smiley face icon to the left of the word "DeNA" in a bold, rounded, sans-serif font.

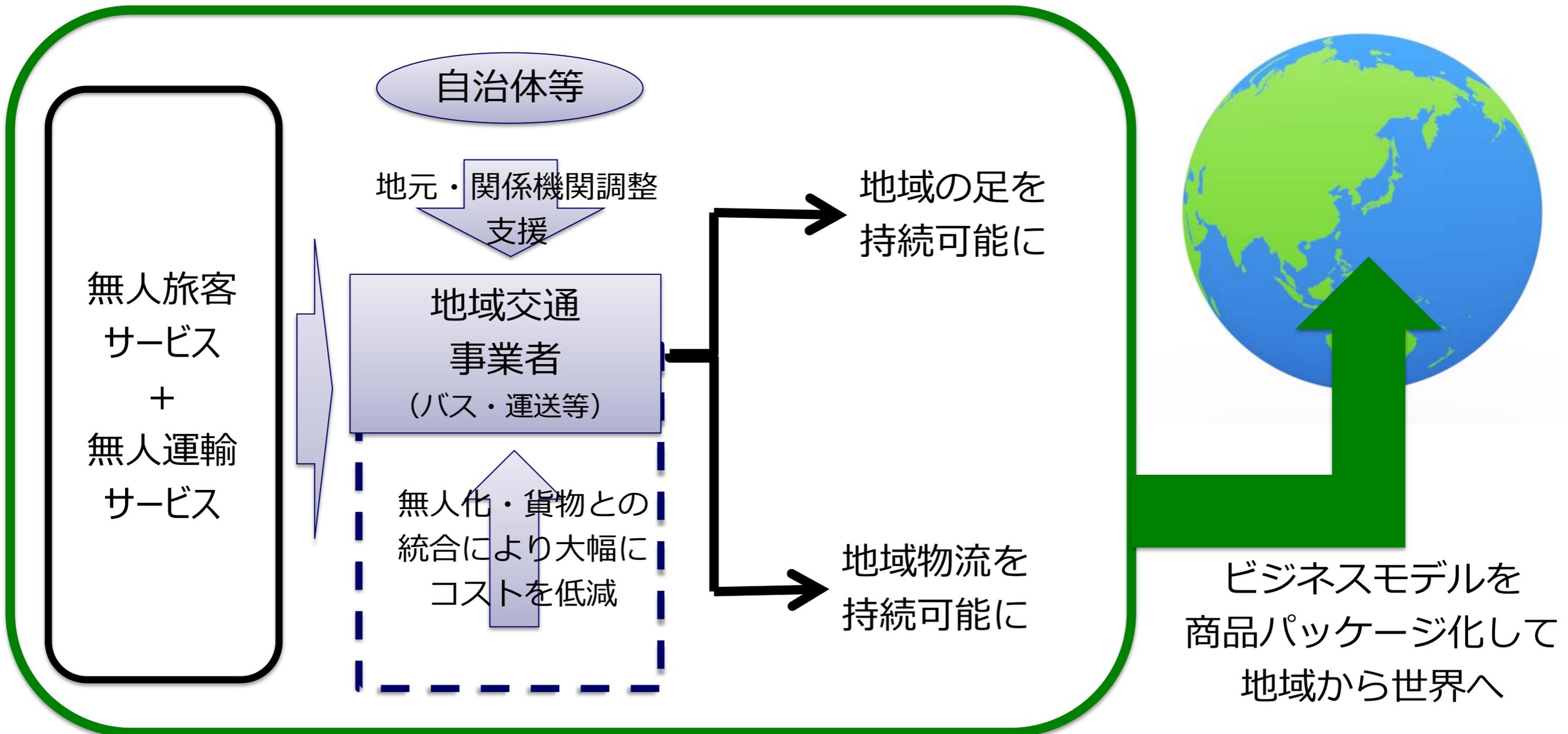
本プロジェクトの背景と目的

- 地域交通においては、ドライバーの不足、公共交通機関の衰退等、高齢化社会を迎えつつある我が国において様々な課題を抱えている。これら交通の課題が地域の停滞につながっている。
- 一方で、オートモーティブ領域では、国家戦略特区における実証実験を始めとして、運転の無人化等で大きな変革が起きており、これらにより、地域交通においても、低コストで利便性の高いモビリティサービスが提供できる可能性がでてきている。
- 本プロジェクトにおいては、①人や貨物の移動のロボット化、②旅客と貨物の兼用、などを地域において実現することにより、「低コストで利便性の高いモビリティサービス・パッケージ」を構築し、地域交通の課題を解決することを目指す。
- また、我が国の高齢化社会をむしろ奇貨として、高齢化に対応した高度な地域モビリティサービス・パッケージを構築し、これを海外に輸出することで、経済成長のドライバーとなることも目指す。

地域無人交通サービスパッケージの構築とグローバル展開

- ◆ 無人走行サービスを包括的に提供。国家戦略特区をはじめとした先進的な自治体等とともにサービスパッケージを構築。これにより大幅に交通に係るコストを低減
- ◆ ロールモデルを地域でパッケージングし、これを輸出して成長のドライバーとする。

※ 当社が、国家戦略特区等で実証実験を行っている無人走行車、運行管理や車両の遠隔制御等を行う管制システム、アプリ等をパッケージ化して、地域交通事業者を提供し、当該事業者が無人の旅客・運輸サービスを実施できるようにする。



ハイウェイ・ロボットトラック プロジェクト

Dec. 2016

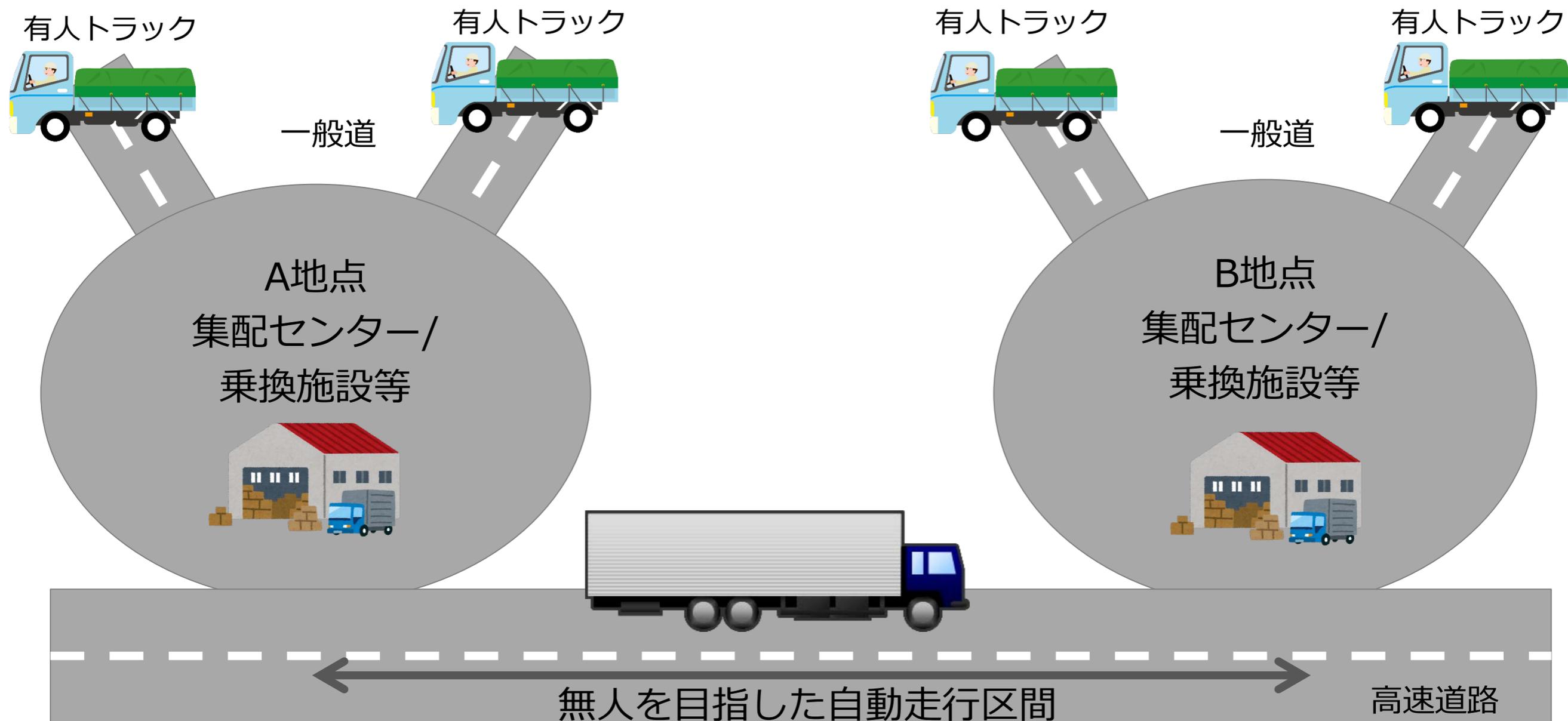
DeNA

本プロジェクトの背景と目的

- EC通販の拡大等に伴い、10年間で約8億個弱の荷物が増える一方で、トラックドライバー数はここ10年ほどほぼ横ばいとなっており、トラックドライバーの不足は国家としての喫緊の課題となっている。
- また、ドライバーの不足が労働環境の悪化を生み、さらにドライバーの不足を招くという悪循環に陥っている。このままでは我が国の貨物輸送の破綻につながりかねない。
- 自動運転技術の観点では、各自動車メーカーも信号機、交差点、歩行者など不確定要素が多い一般道より高速道路での自動運転技術の開発を進めており、また、国家戦略特区等においても実証実験が進んでいる。
- これらの背景より、プロジェクトにおいては、将来におけるトラック輸送の無人化も見据えながら、高速道路での自動運転の実証実験及び実用化を目指す。

本プロジェクト概要

- 一般道においては有人トラックで貨物を輸送し、PA/SA等で将来的に無人を目指した自動運転トラック（※）への貨物の積替等を行う。
- PA/SA間において無人を目指した自動走行トラックにより、貨物の輸送を行う。



※既に国家戦略特区等において実証実験を行うことで当社が得ている自動走行に関するノウハウ等を活用